

# 企画環境委員会会議記録（第4号）

令和6年12月18日

福島県議会

1 日時

令和6年12月18日（水曜）

午後 3時 5分 開会

午後 3時22分 閉会

2 場所

企画環境委員会室

3 会議に付した事件

別添「議案付託表」のとおり

4 出席委員

委員長 山口 信 雄

副委員長 山 内 長

委員 長 尾 トモ子

委員 今 井 久 敏

委員 高 野 光 二

委員 佐 藤 雅 裕

委員 佐々木 彰

委員 大 橋 沙 織

委員 山 田 真太郎

5 欠席委員

委員 大 場 秀 樹

6 議事の経過概要

（午前 3時 5分 開会）

山口信雄委員長

開会に先立ち、大場秀樹委員より欠席する旨の届出があったので報告する。

ただいま出席委員が定足数に達しているため、これより企画環境委員会を開会する。

これより生活環境部の審査に入る。

本日の本会議で新たに付託された知事提出議案第59号のうち本委員会所管分を議題とする。

直ちに、生活環境部長の説明を求める。

生活環境部長

(別紙「12月県議会定例会企画環境委員会生活環境部長説明要旨」により説明)

山口信雄委員長

続いて、生活環境総務課長の説明を求める。

生活環境総務課長

(別紙「議案説明資料」により説明)

山口信雄委員長

以上で説明が終わったので、これより議案に対する質疑に入る。

質疑のある方は発言願う。

大橋沙織委員

バス無料デーは新規の取組であり、様々な場所で周知していく必要があると思うが、実施日数と乗客数の見込みを聞く。

生活交通課長

バス無料デーの実施日については、今後バス事業者と詳細を協議するが、現時点では令和7年2～3月の平日1日、土日祝日1日の計2日間を想定している。また、利用者数については、他県の先行事例を参考に、平日は約1.4倍、休日は約1.6倍の増加を見込んでおり、その後のバス利用の増加につながることを期待している。

大橋沙織委員

ふだんのバスは空席が目立っている。多くの県民が車中心の生活を送る中、バス利用者の増加に向けた一歩を踏み出すことが非常に大事であると思うが、今後、バス利用促進事業をどのように周知していくのか。

生活交通課長

例えば、免許返納をためらっている高齢者や4月から通勤通学での新規のバス利用者に試乗してほしいと考えており、日程が決まり次第、ポスターやチラシ、テレビ、新聞など様々な媒体を用いて周知していく。

長尾トモ子委員

バス無料デーを実施する地域や箇所数を聞く。

生活交通課長

福島交通（株）をはじめ県内に6社のバス事業者があるが、全事業者の全路線を対象にしたいと考えている。

長尾トモ子委員

私も新幹線を利用する際、自宅から郡山駅までバスを利用しており生活の利便性を感じていることから、多くの人に具体的事例を提示しながらアピールすることが大事であると思うため、よろしく願う。なお、バス利用促進事業の主な対象として、観光目的の利用は含まないのか。

生活交通課長

4月からバスによる通勤通学を検討している人を想定しているほか、今回の財源は物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金であるため、消費喚起の面も想定している。物価高騰による県民の外出控えがあるため、バス無料デーをきっかけに観光施設や商店街に外出し食事や買物をするることによる地域経済の活性化も目的の一つである。

今井久敏委員

地域公共交通等運行継続緊急支援金の詳細を説明願う。

生活交通課長

乗合バス事業者については、定員11名以上のバス1台当たり10万円、定員11名未満のバス1台当たり5万円、貸切りバス事業者については1台当たり5万円、タクシー事業者については1台当たり2万5,000円、運転代行業者及びトラック運送事業者については1台当たり1万円を支援する。議決後、速やかにコールセンターを立ち上げ、準備が整い次第、早ければ1月下旬以降に申請受付を開始したい。年度末の決算時期に向け、少しでも資金繰り等に役立ててほしいと考えている。

今井久敏委員

コールセンターの混雑により待ちが発生しないよう手配願う。

高野光二委員

ただいま答弁があった件について、分かりやすい資料があれば提出願う。

山口信雄委員長

ただいま高野委員から資料要求があったが、資料提出は可能か。

生活交通課長

事業の概要が分かる資料を用意して提出する。

山口信雄委員長

それでは、お諮りする。

ただいまの資料について、委員会に提出を求めることに異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

山口信雄委員長

異議ないと認め、本日中に15部提出願う。

ほかにないか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

山口信雄委員長

なければ、以上で議案に対する質疑を終結する。

これをもって生活環境部の審査を終わる。

これより議案の採決に入って異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

山口信雄委員長

異議ないと認め、議案の採決を行う。

お諮りする。

知事提出議案第59号のうち本委員会所管分は、原案のとおり可決すべきものと決定して異議ないか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

山口信雄委員長

異議ないと認める。よって、知事提出議案第59号のうち本委員会所管分は、原案のとおり可決すべきものと決定した。

なお、委員長報告の作成は私に一任願う。

以上で全部の議事を終了した。

これをもって、12月定例会における企画環境委員会を閉会する。

(午後 3時22分 閉会)

閉会后、委員会で提出を求めた資料が提出され、各委員に配付した。